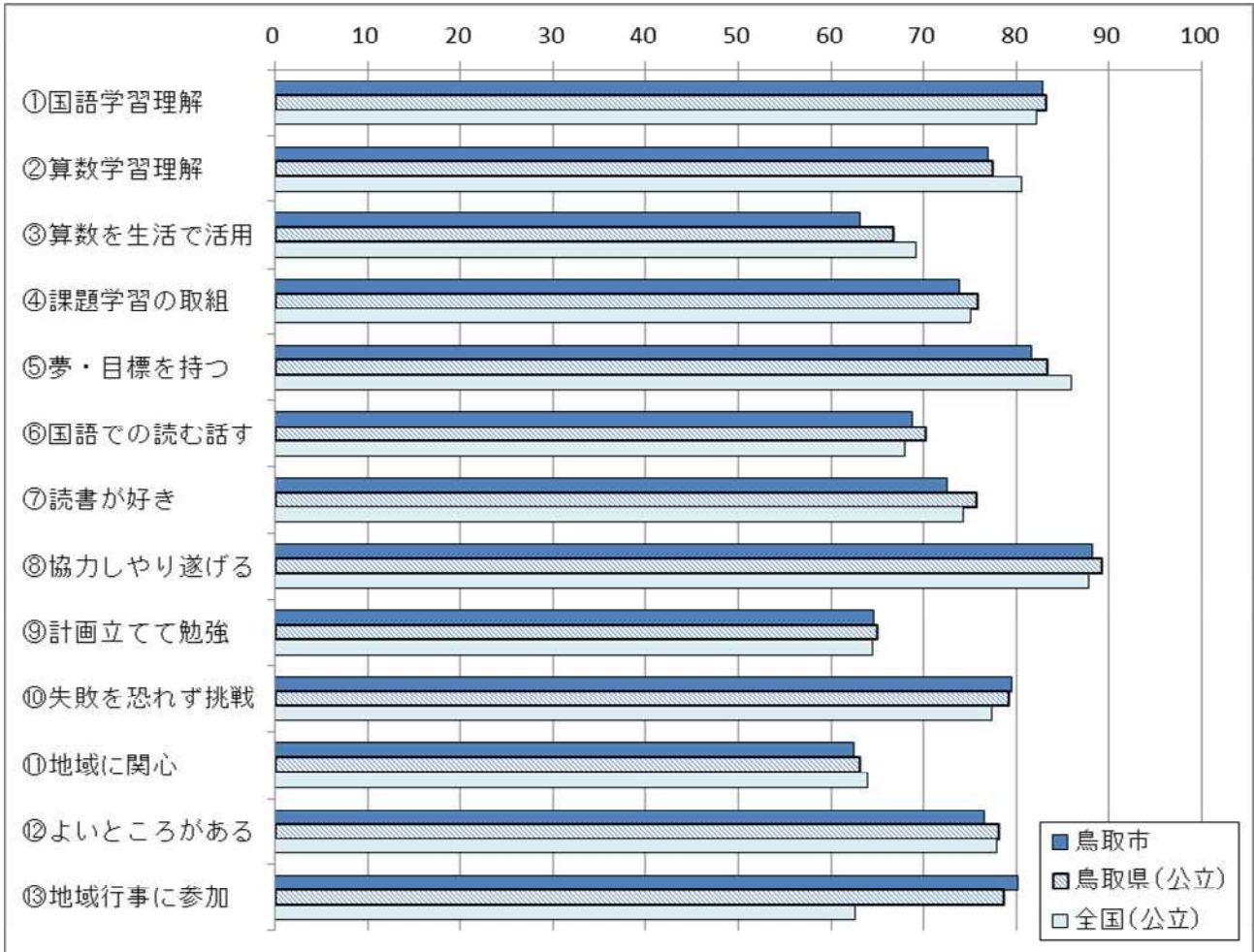


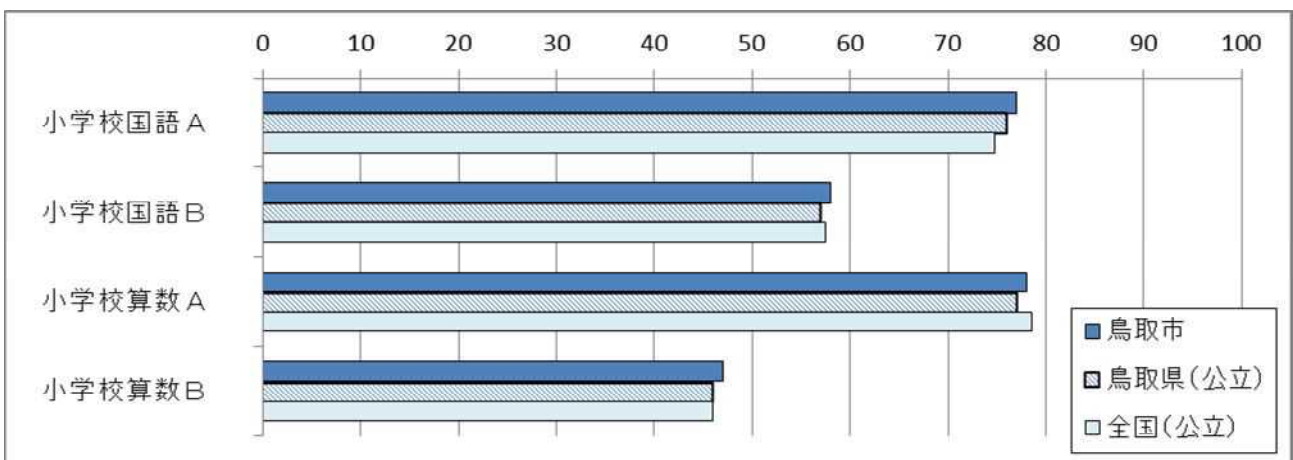
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

〈小学校〉

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



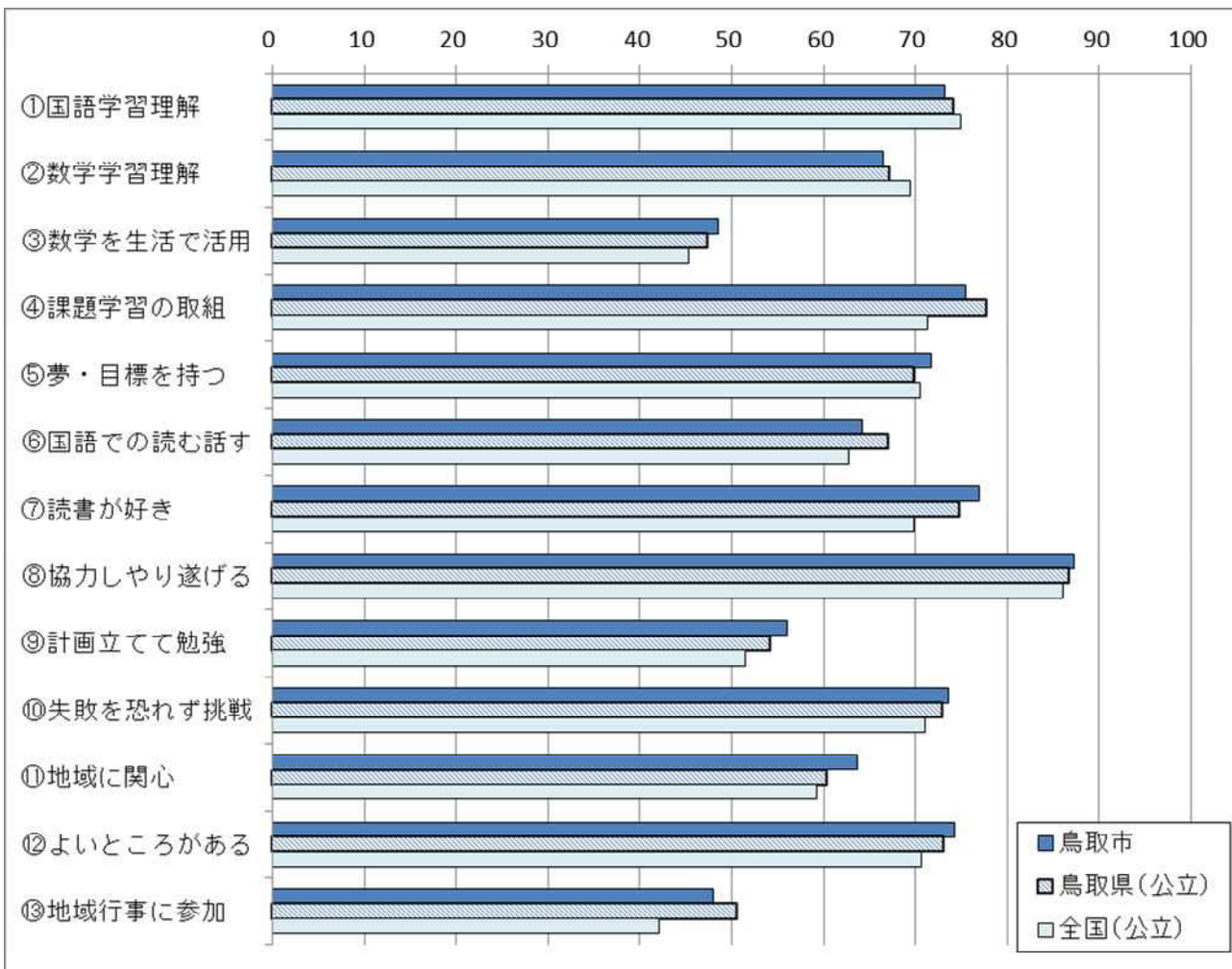
■教科に関する調査



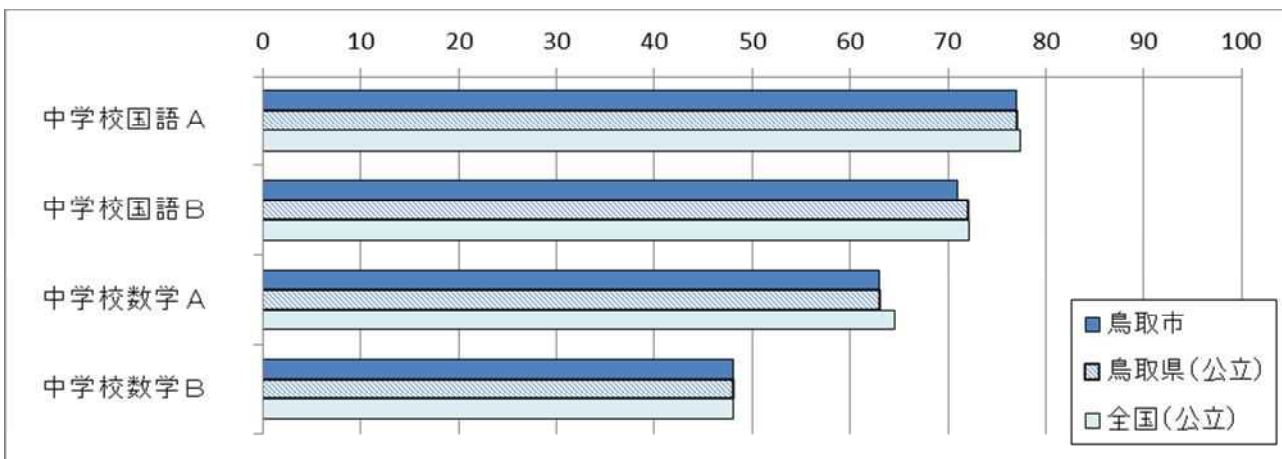
- ◇質問紙調査において、「算数の授業の内容はよく分かる」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童は全国に比べ 3~6 ポイント低いが、算数Bの平均正答率は全国を上回った。
- ◇地域の行事に参加している児童の割合は、全国に比べ大幅に高く、地域を身近に感じている児童が多いと考えられる。
- ◇国語Aの平均正答率は、全国に比べ2ポイント以上上回っており、知識技能の定着が図られている。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

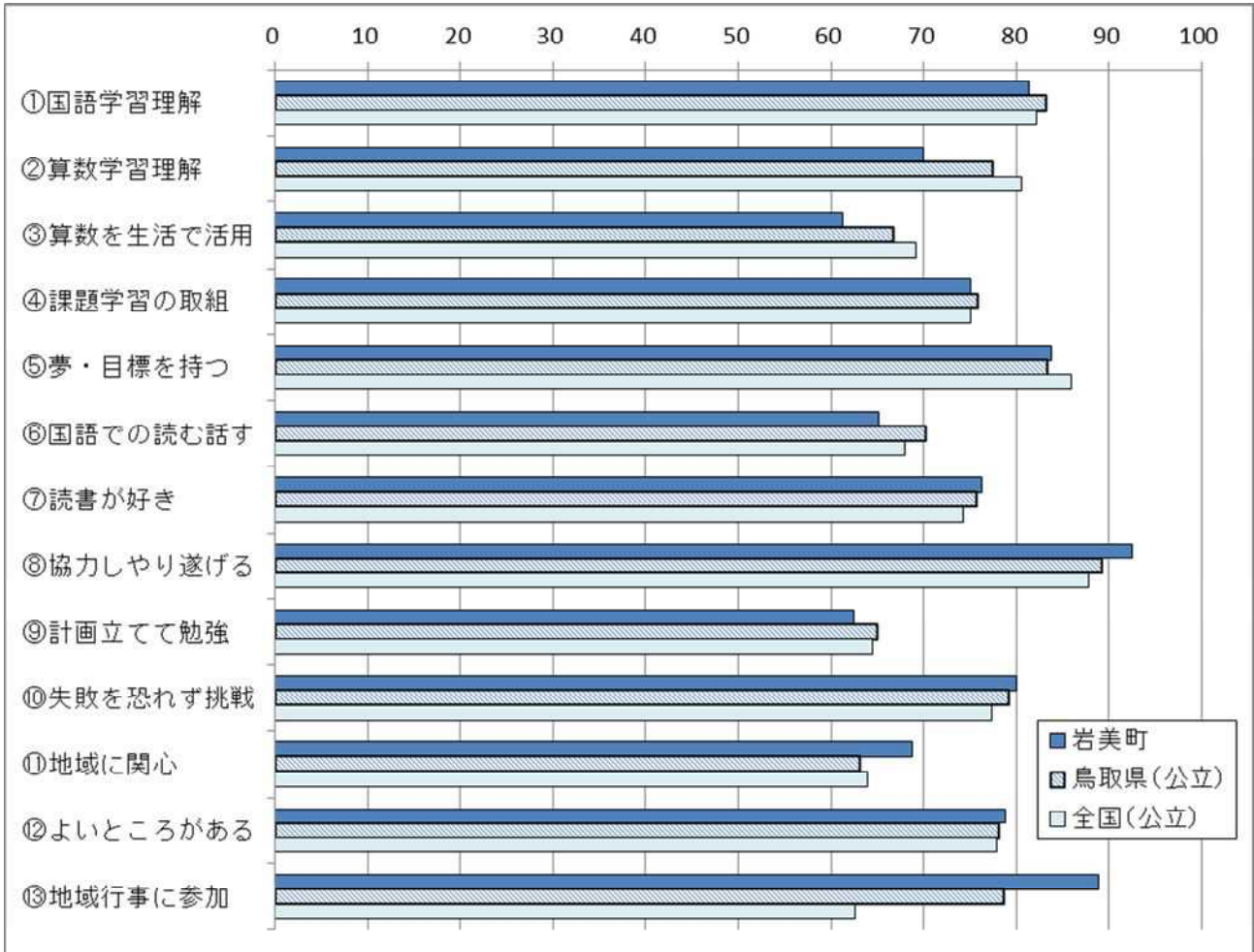


- ◇質問紙調査において、国語、数学ともに「授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国に比べやや低く、教科における調査でも国語B、数学Aの平均正答率で、全国を下回ったことから、両教科における授業改善を進める必要がある。
- ◇「グループで課題を立て、話合う等の学習活動に取り組んだ」「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合が全国に比べ高く、主体的な学びに向けて取組をすすめていることが伺える。

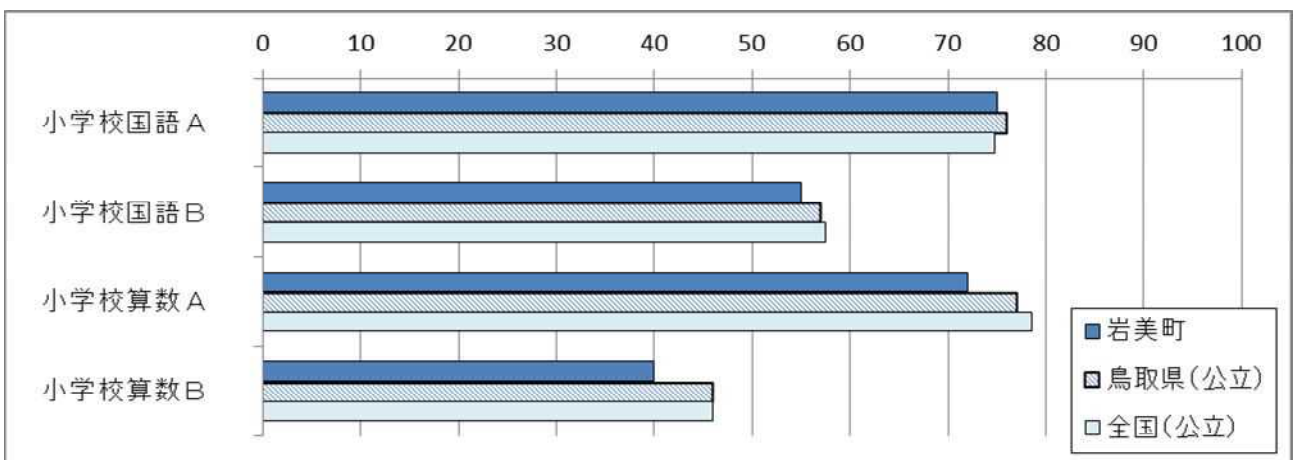
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



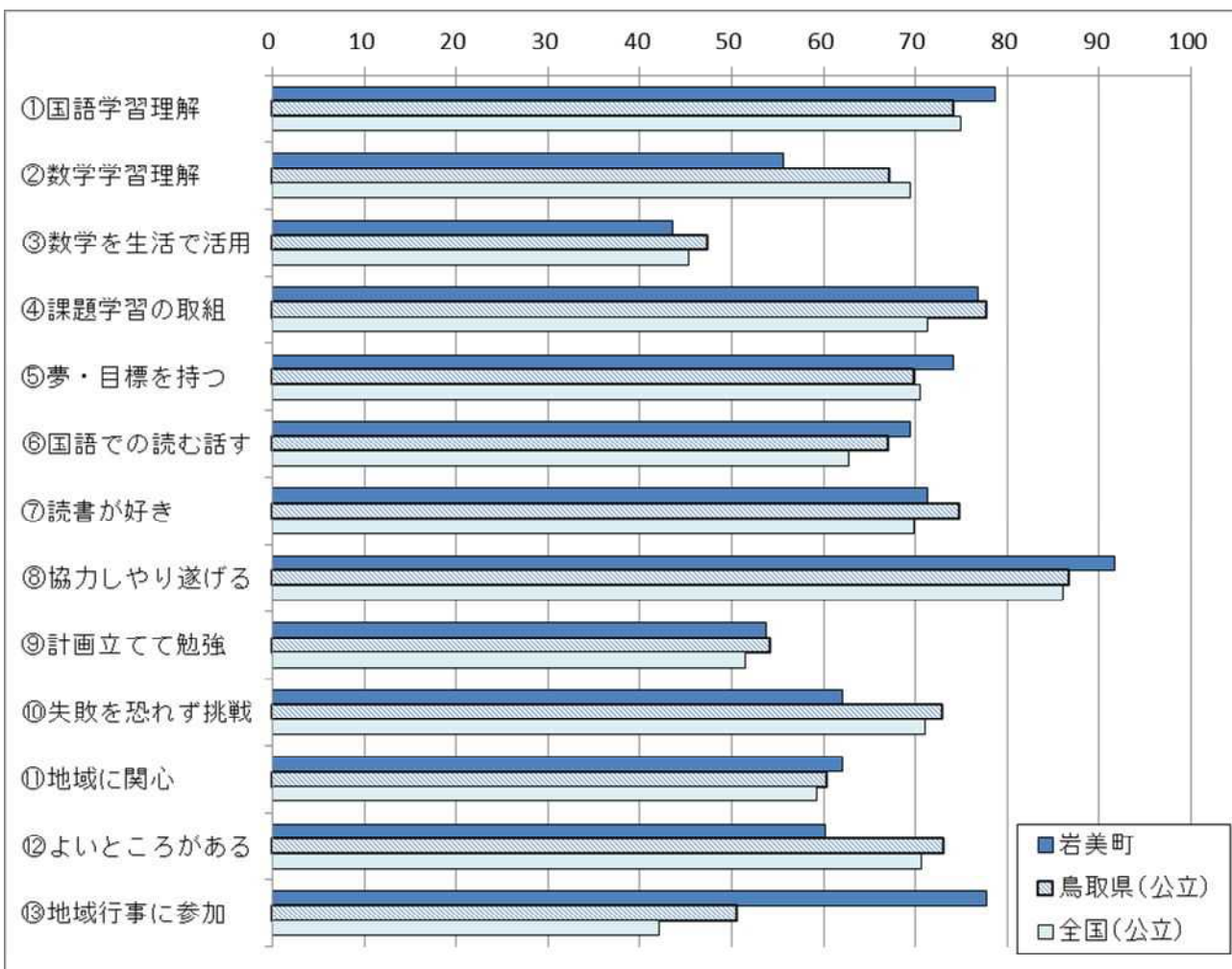
■教科に関する調査



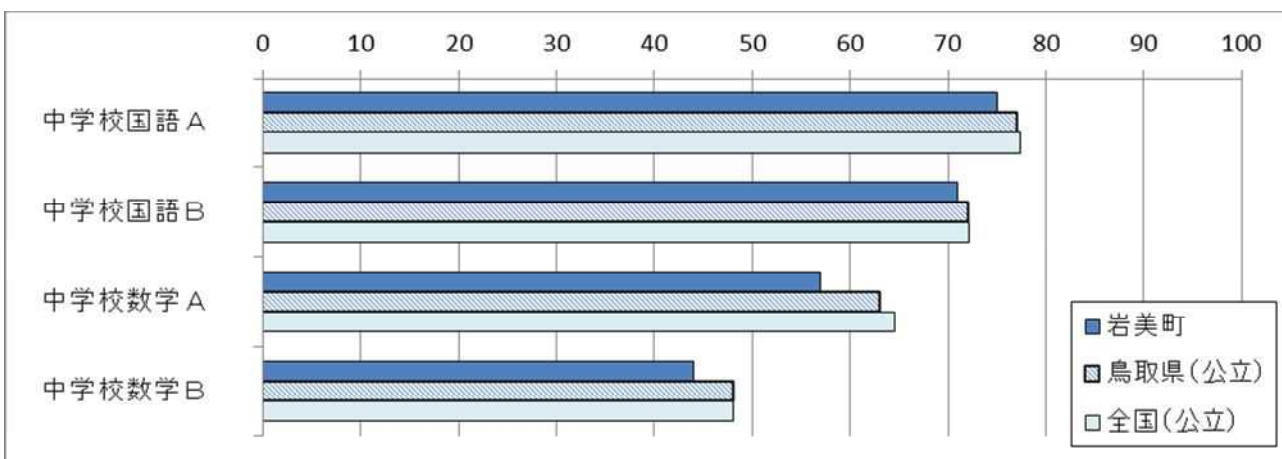
◇質問紙調査の「算数の授業の内容はよく分かる」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合が全国に比べ低く、算数A、Bの平均正答率も全国を下回っていることから、算数において、知識・技能の確実な定着が必要である。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

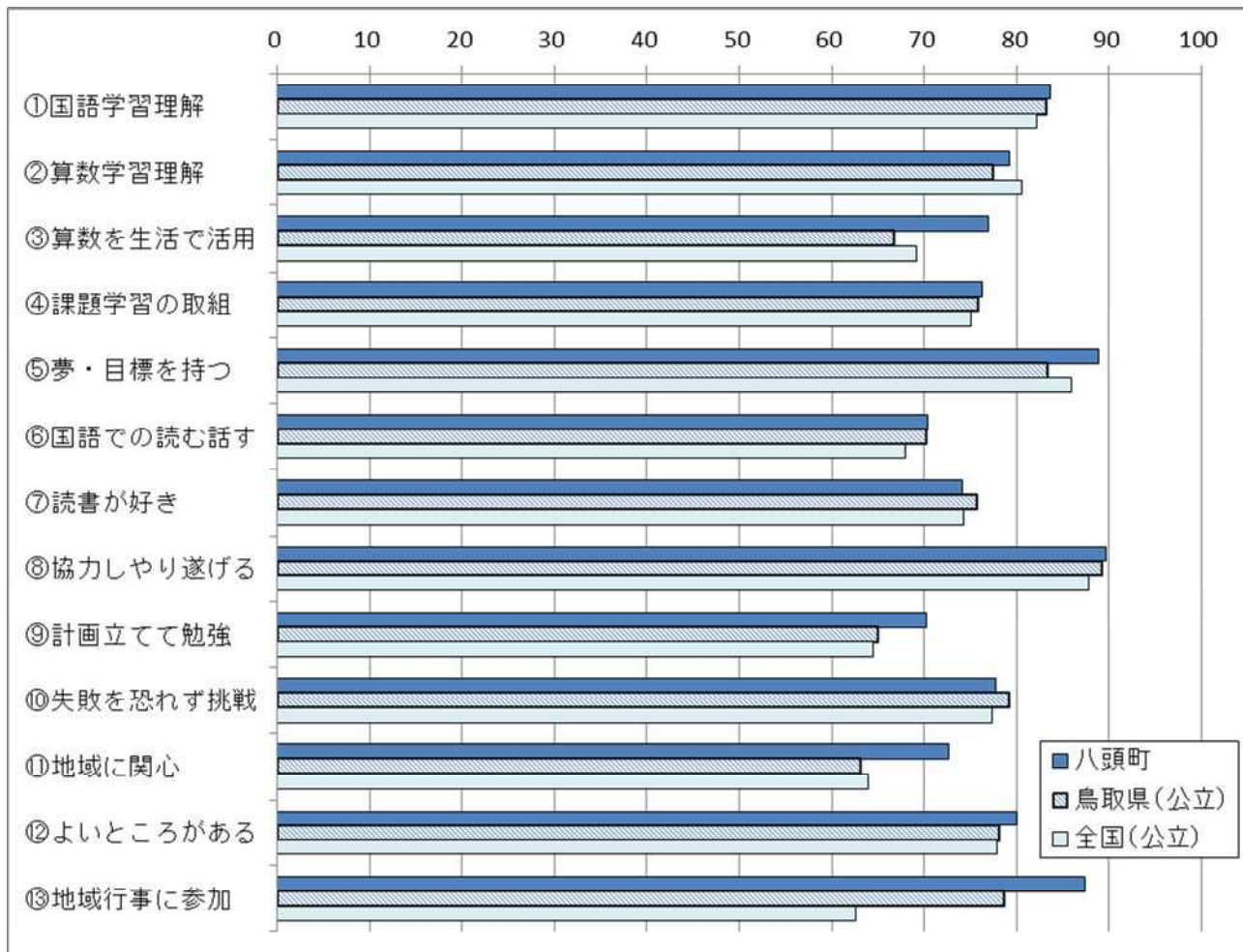


◇質問紙調査で「授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合は、国語で全国よりも高く、数学で全国より低くなっている。教科に関する調査では、国語、数学のA、B問題すべてで全国平均正答率を下回っている。

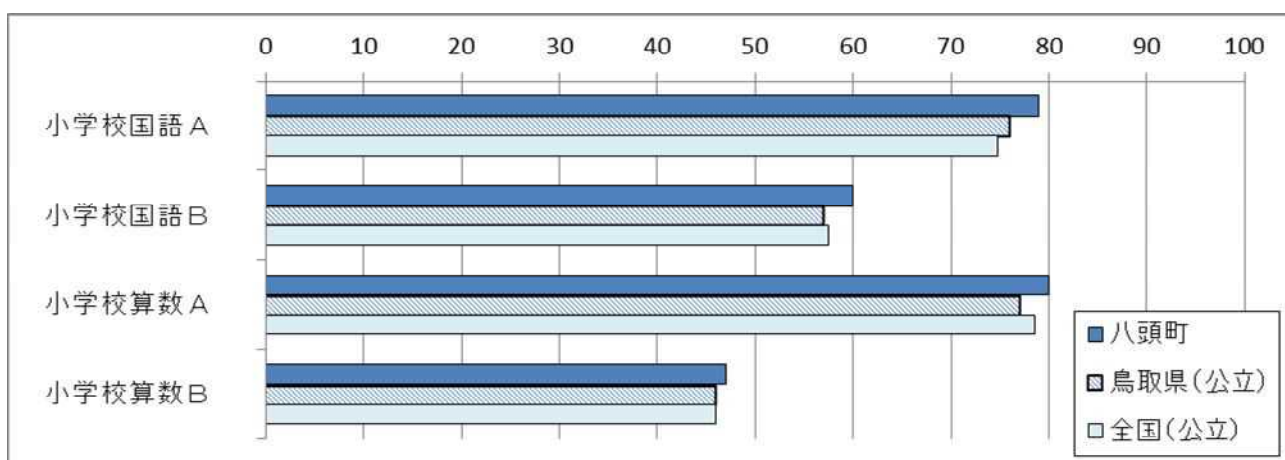
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



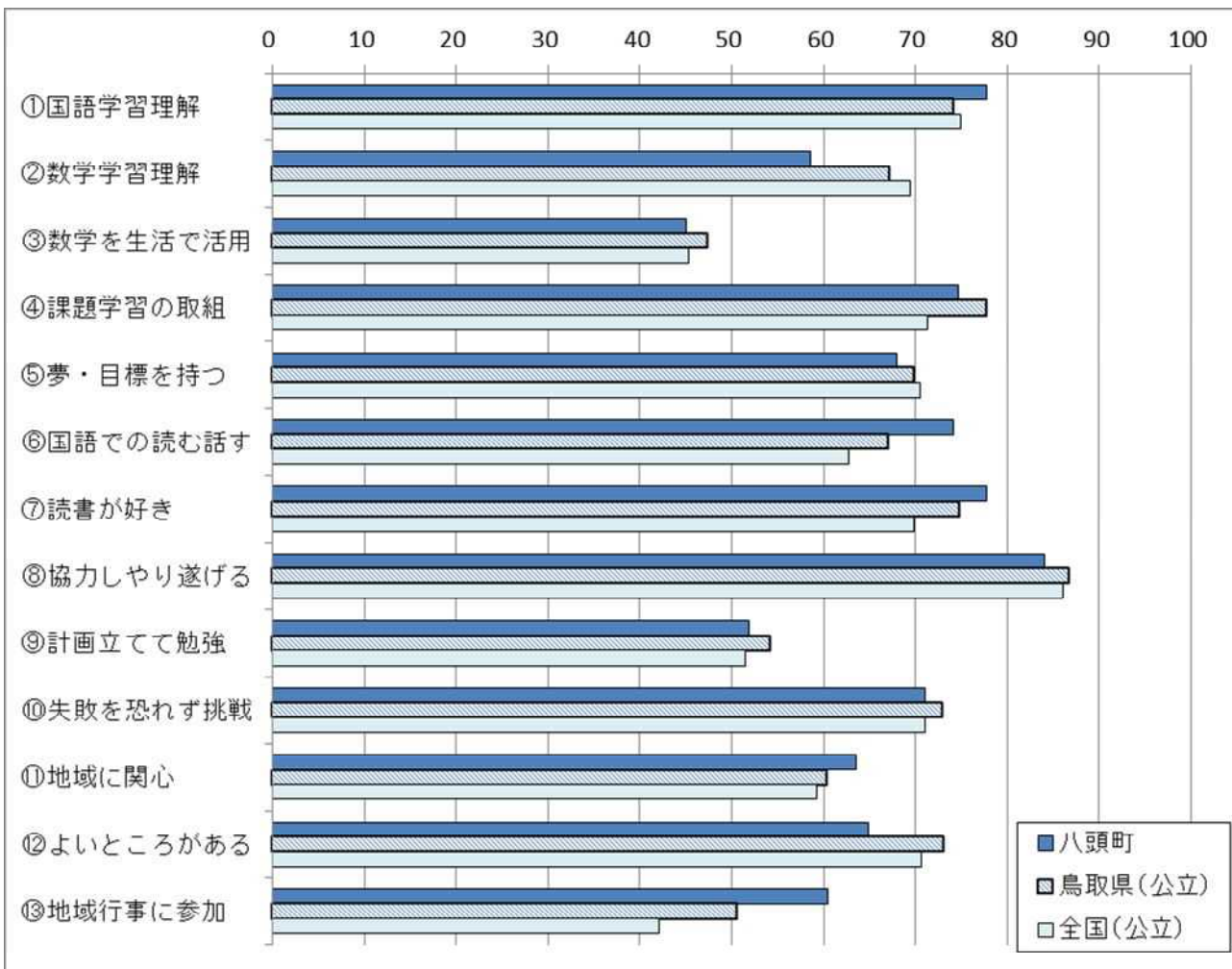
■教科に関する調査



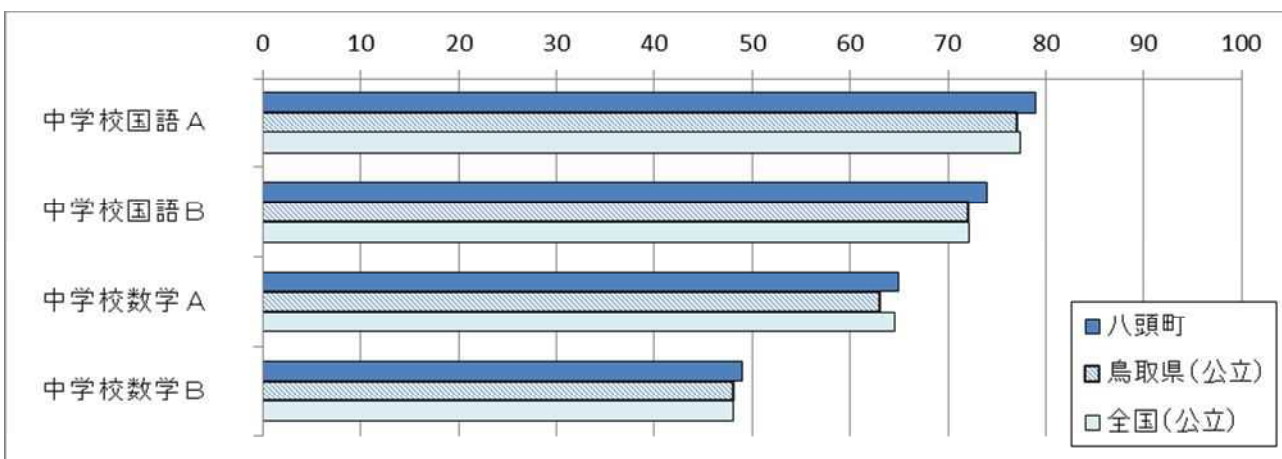
◇質問紙調査では、「自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合が、全国に比べ高く、家庭で自主的に学習に取り組む児童の割合が高い。また、「地域に関心がある」「地域の行事に参加している」児童の割合が、全国に比べ高く、地域との結びつきが強いと考えられる。
 ◇教科に関する調査では、国語、算数のA、B問題すべてで全国を上回っており、知識・技能の定着、活用力の育成について良好な結果となっている。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査



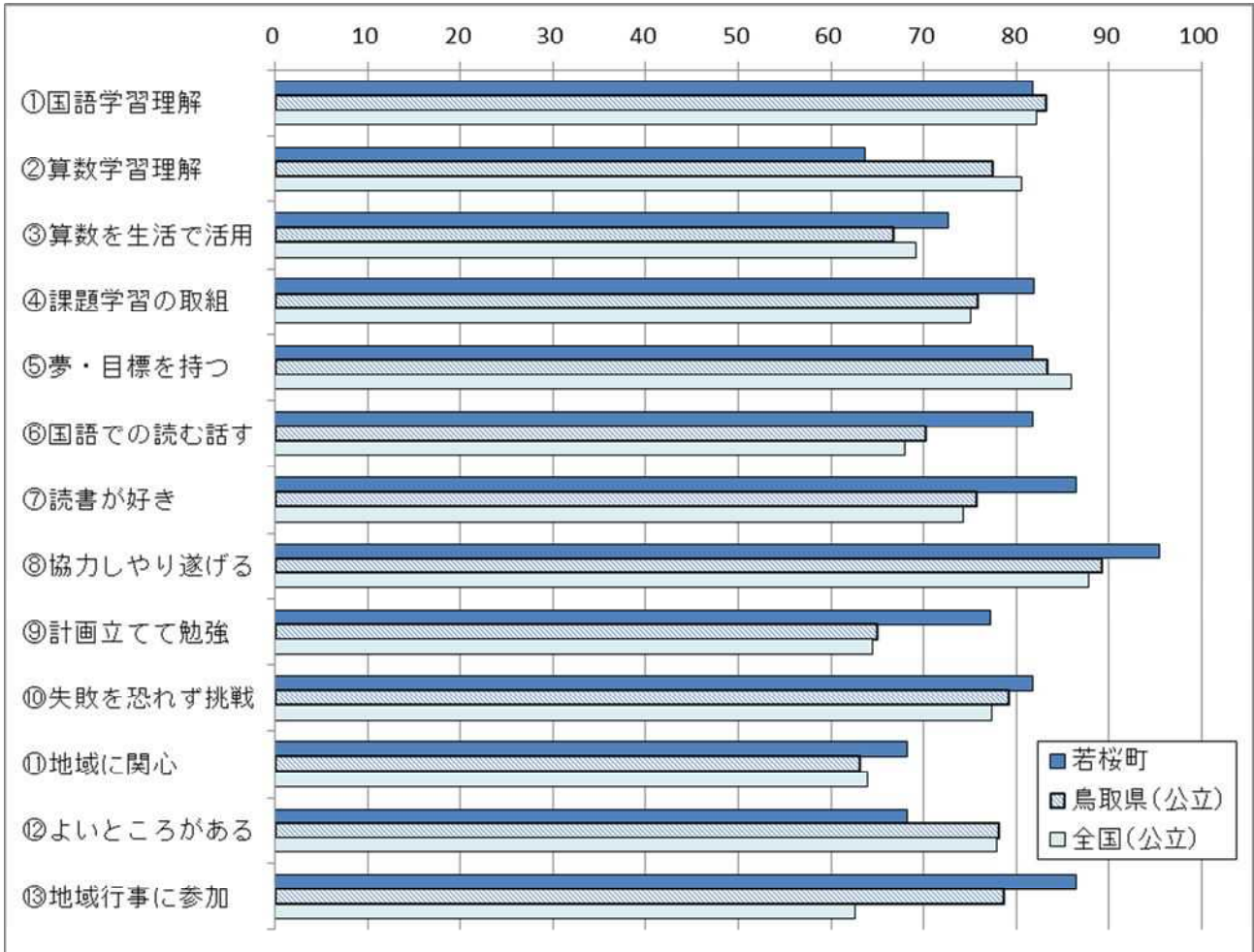
◇教科に関する調査における数学A、B問題の平均正答率は全国と同程度であるが、「数学の授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合は、全国よりも10ポイント以上低く、教科調査の結果以上に数学に対するの苦手意識が強いと考えられる。

◇国語の授業に関連する項目で望ましい回答をしている生徒の割合が、全国に比べ高く、国語A、Bともに全国平均正答率を上回っている。

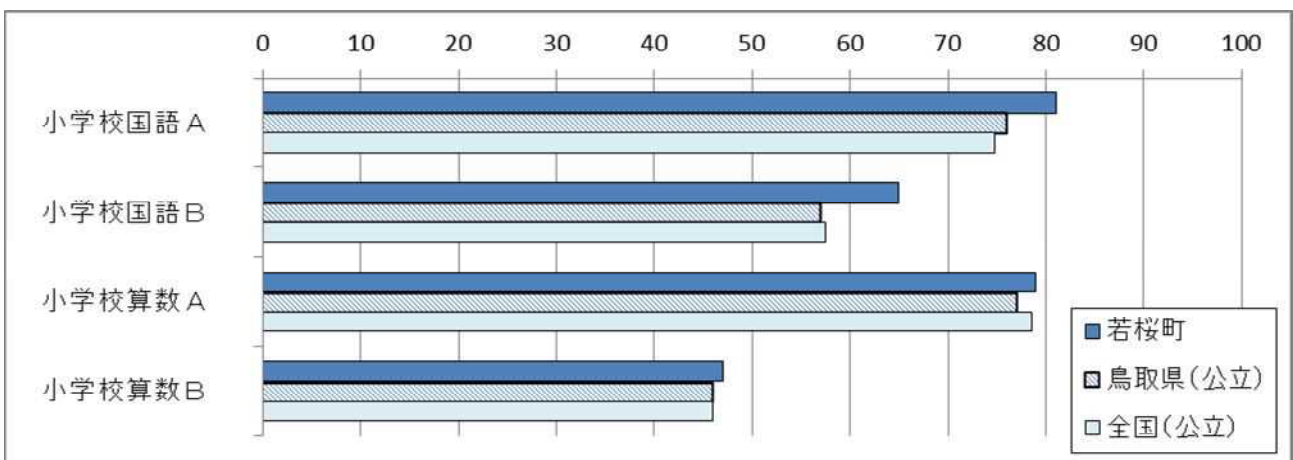
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

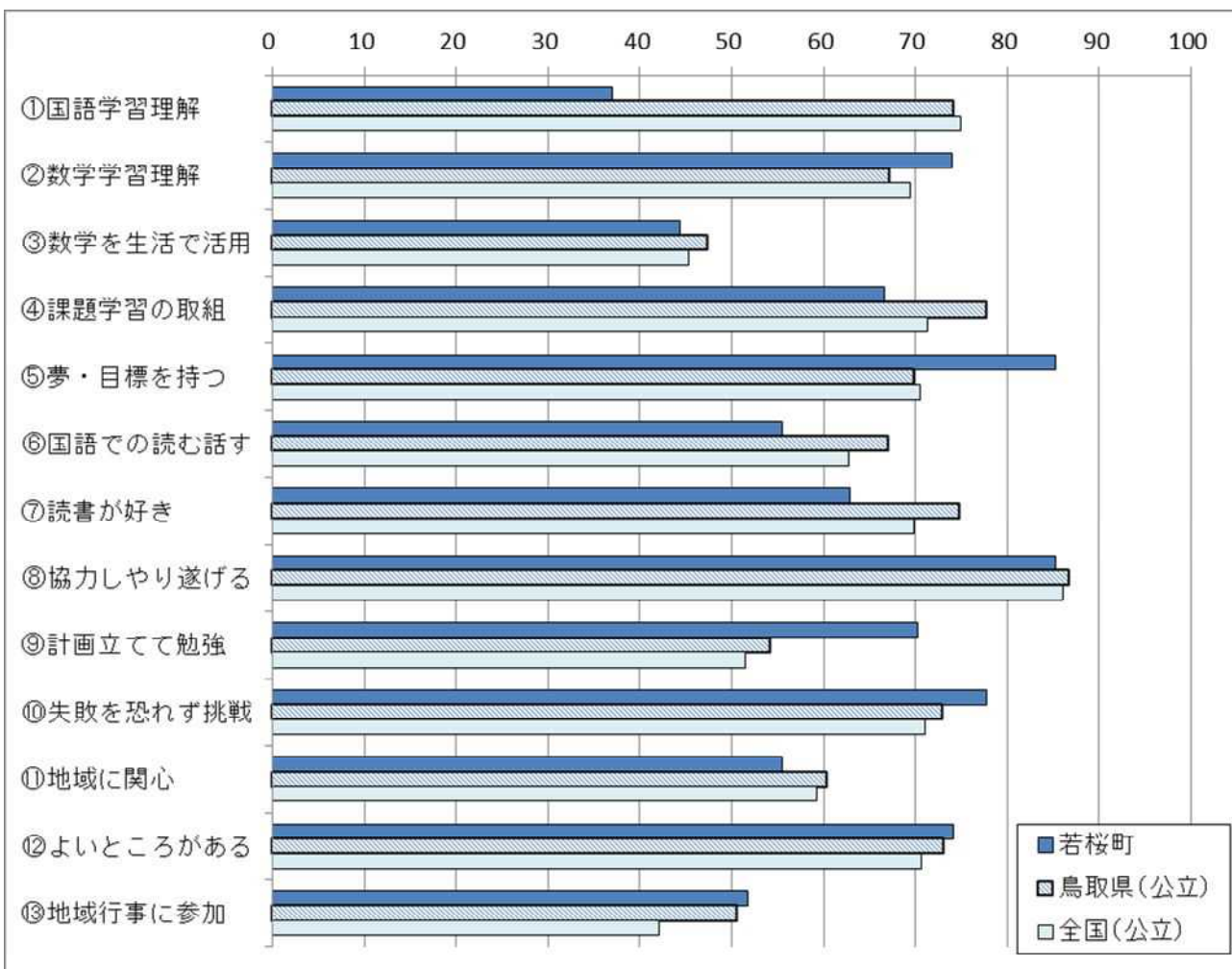


◇質問紙調査において、「みんなで協力してやり遂げ、嬉しかったことがある」「自分で計画立てて勉強している」「失敗を恐れず挑戦している」や地域に関連した項目等が全国に比べ高く、教科に関する調査においても国語A、B、算数Bで全国平均正答率を上回っており、知識・技能の定着等良好な状況である。

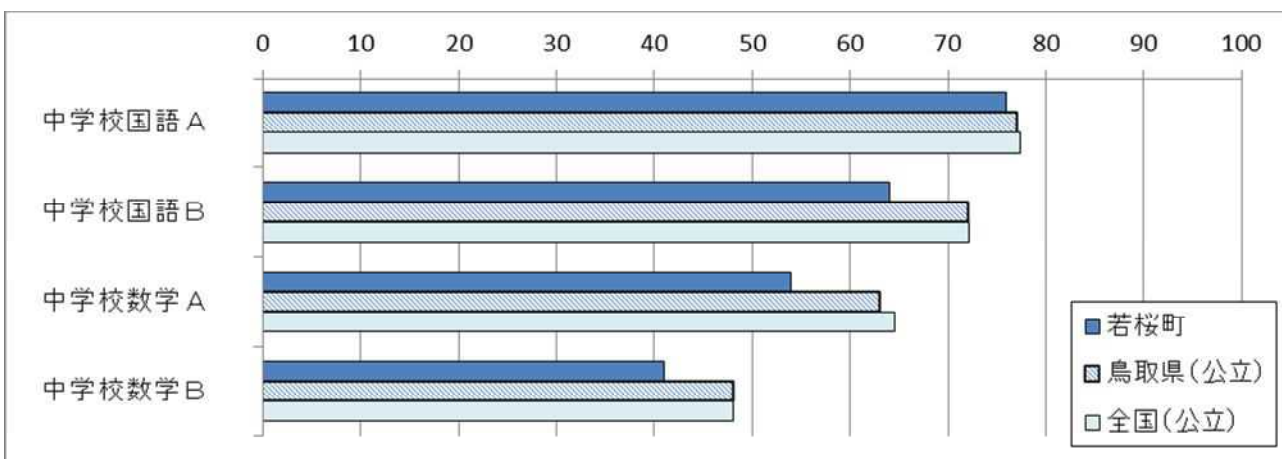
◇「夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」と回答した児童の割合が、全国に比べ低いことから、自己肯定感を感じさせる指導の充実が考えられる。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

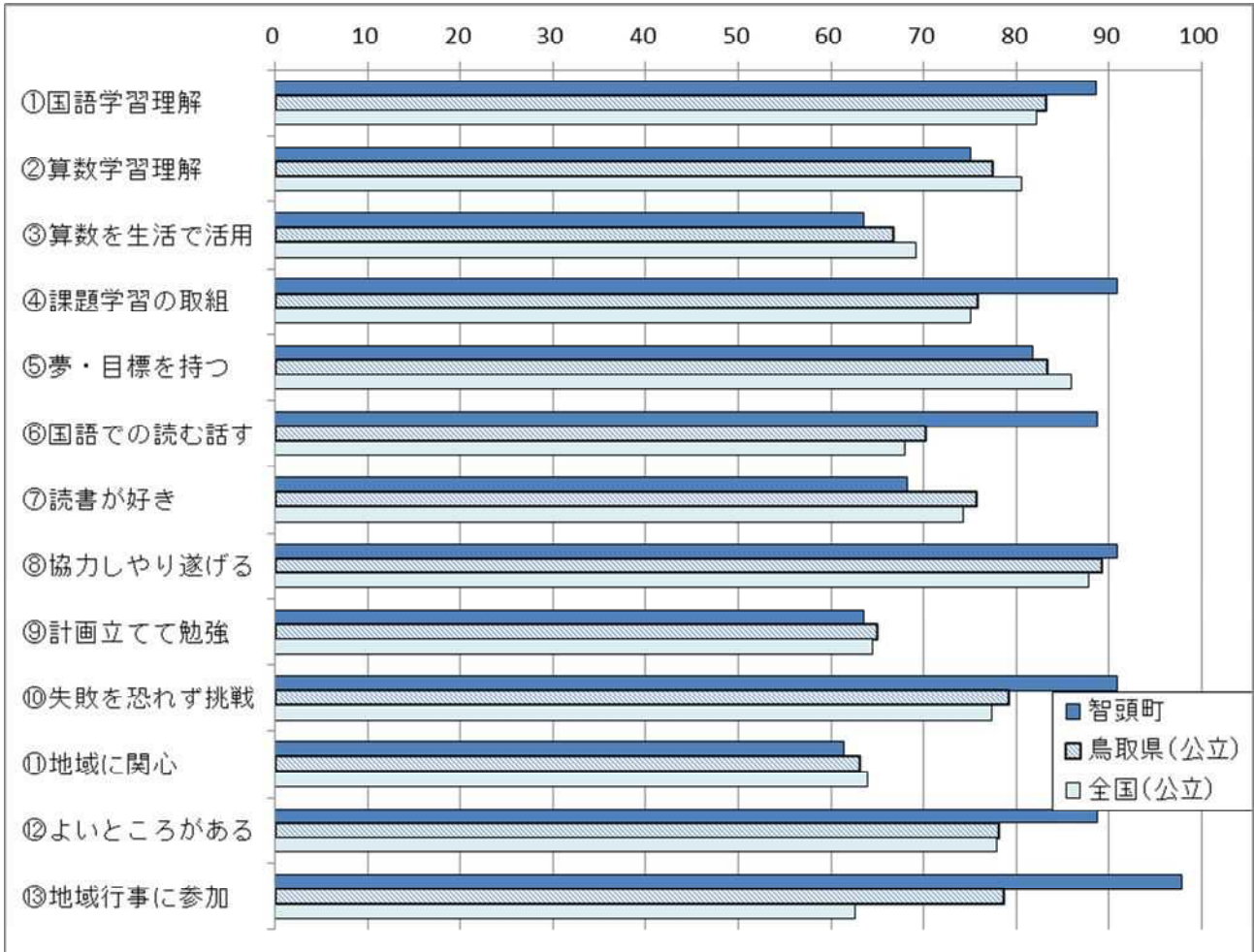


- ◇国語の授業に関連する項目で望ましい回答をしている生徒の割合が、全国に比べ非常に低く、国語A、Bともに全国平均正答率を下回っており、国語の授業に課題を感じている生徒が多いと考えられる。
- ◇「数学の授業がよく分かる」と回答した生徒の割合は、全国に比べ高いが、教科に関する調査ではA、B問題両方で全国平均正答率を下回っており、質問紙の回答と、教科調査の結果に差が見られた。

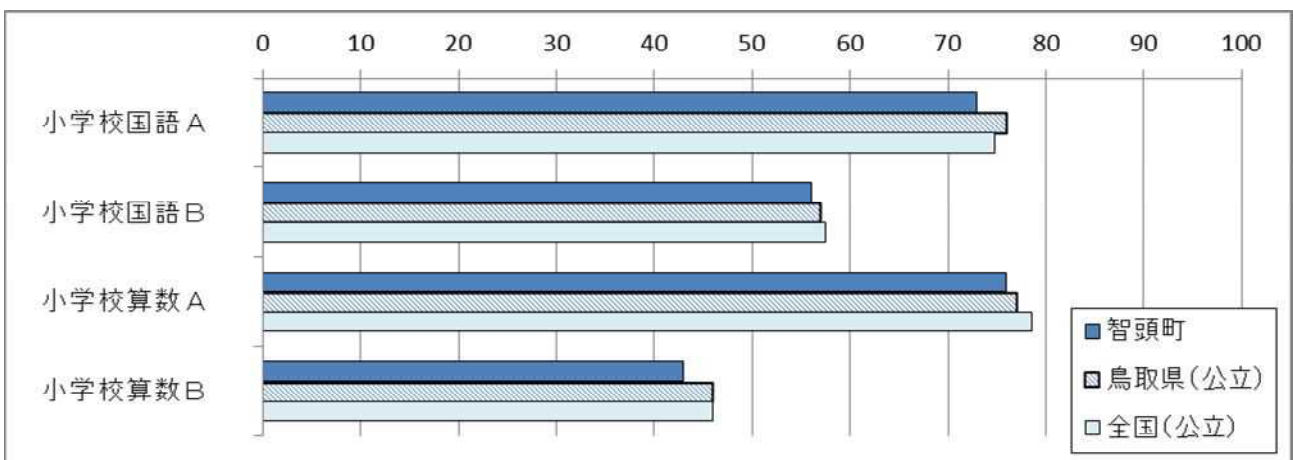
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

＜小学校＞

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

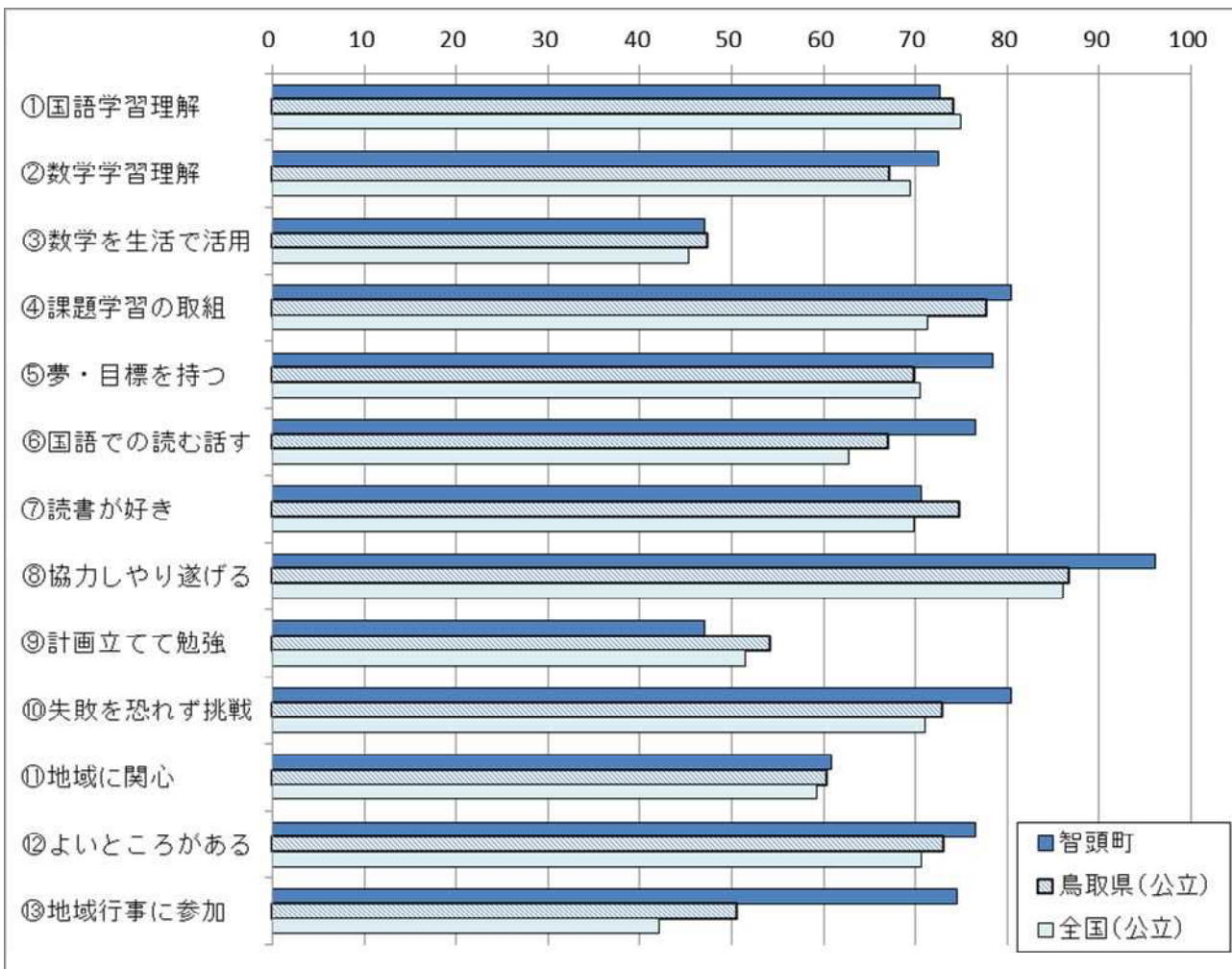


◇質問紙調査において、「授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が、国語は全国より高く、算数は全国よりも低い。教科に関する調査では、国語、算数のA、B問題すべてで全国を下回っており、知識・技能の定着、活用力の育成ともに課題が見られたことから、国語よりも算数の苦手意識が強いことが考えられる。

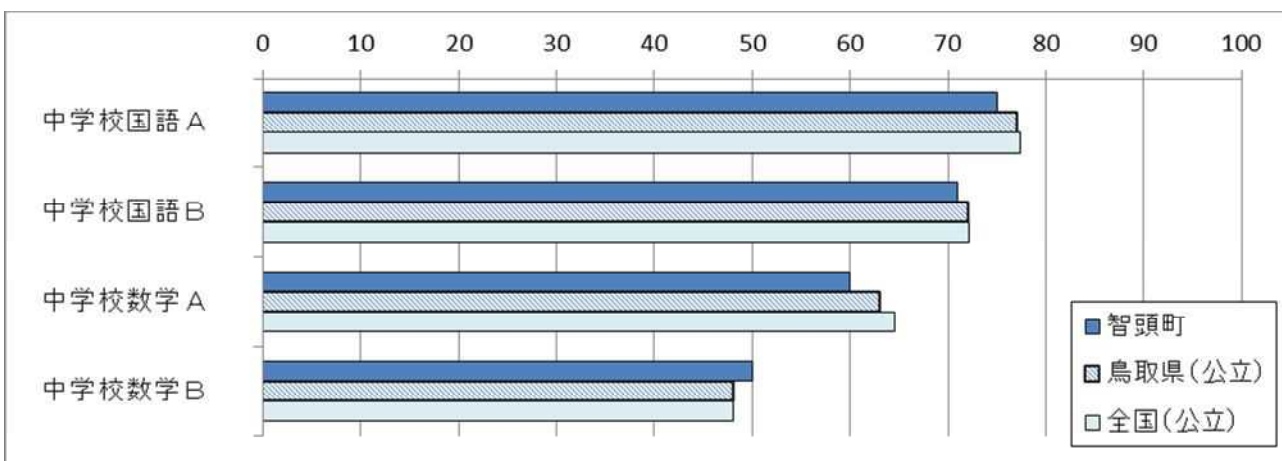
◇「失敗を恐れずに挑戦している」「自分にはよいところがある」と回答した児童の割合が、全国よりも高く、自己肯定感を感じている児童が多いと考えられる。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査



◇「国語の授業の内容がよく分かる」「自分で計画を立てて勉強している」以外の質問紙の項目について、望ましい回答の割合が全国に比べ高く、自己肯定感も高いと考えられるが、教科に関する調査では、国語A、B、数学Aで全国平均正答率を下回っており、両教科に課題が見られる。質問紙の回答と、教科調査結果に差が見られており、自分の理解度について振り返る活動の充実等が必要である。